

持続可能な未来に向けて、みんなで考えよう！ プラスチックとの上手なつきあい方

2019年に大阪で開催されたG20サミット(※)において、2050年までに海洋プラスチックごみによる新たな汚染をゼロとすることを目指す、「ブルー・オーシャン・ビジョン」が共有されました。

いまや、ペットボトルをはじめとする容器包装から家庭用品、各種部品やおもちゃなど、私たちの消費生活において、あらゆる場面で利用されているプラスチック。

その利便性は計り知れませんが、一方で、ポイ捨てなど不適切に廃棄された大量のプラスチックごみが海に流れ出ることによる環境汚染や、海洋生物への悪影響が問題になっています。

私たちは、日常生活の中で、3R=リサイクル(再資源化)・リユース(再利用)・リデュース(減量)を意識して、プラスチックと上手につきあっていくことが重要です。

※G20サミット：主要先進国・新興国の首脳が参加して毎年開催される国際会議。近年取り上げられる議題は、世界経済、貿易・投資、開発、気候・エネルギー、雇用、デジタル、テロ対策、移民・難民問題等、多岐に渡る。

消費者として何が出来るかな？考えてみよう！

例えば…

マイバッグを持ち歩く

2020年7月から、スーパー・コンビニ等の小売店に対し、レジ袋の有料化が義務づけられます。(※)今のうちに、マイバッグを持ち歩く習慣をつけておきましょう。

※容器包装リサイクル法の省令改正



例えば…

ポイ捨てはやめる

ポイ捨てされたペットボトルやプラコップ、カラスが食い破ったポリ袋など、散乱したプラごみが、やがては海に流れ込みます。これ以上マイクロプラスチックを増やさないために、自分が出したごみは持ち帰り、洗って分別処理しましょう。



例えば…

買い物をするときに考える

外出先での水分補給用なら、マイボトルを活用する。店頭に並んでいる青果や肉・魚に、過剰なトレーはどこまで必要な？洗剤やシャンプーは詰替え用がありますね。日常の買い物でも、ひと工夫すればプラごみ削減につながりますね。



「私一人くらいが取り組んでもムダ」
…果たして、そうでしょうか？
「私だけでも出来ることから始めよう」
という気持ちを大切にしませんか！

